

私たちの西地域

手賀野 (手賀野上区, 第1区, 第2区, 会所ヶ丘区)

駒場 (第3区, 後田区, 松源寺区, 大峡区, 共栄区, 第4区, 第5区, 西ヶ丘区, 大平区, 山手区, 桃山区, 第6区, 第23区)

2022.11.1 「青木斧戸線」が開通しました！

～ 国道19号と国道257号の南北を結ぶ基幹道路

は西小学校への防災路にもなります ～



R257 青木交差点 (↑大峡橋)



青木稲荷付近から左カーブ (中央奥)



西小学校入口の歩道橋 (右→駒場線)



R19 から下呂方面

南

北

国道19号小向井交差点

都市計画道路：青木斧戸線 新しいR19小向井交差点からR257へ

平成26年度から事業着手して9年の歳月、地権者約180人をはじめ、関係者の様々な協力と積み重ねで青木斧戸線が開通し、駒場線とともに基幹道路が完成しました。

子供たちは、通学の安全確保のため広い歩道と歩道橋を通りますが、高齢者などは横断歩道のある所で渡ることが多くなります。学校・PTA・見守り隊・警察などの協力で広く安全点検を行います。



市長、来賓によるテープカット



西小学校・西幼稚園の子ども達の踊り



R19 から手賀野方面

※この広報は市の「地域一括交付金」を活用しています

●中津西まちづくり協議会設立記念イベント「昔と今のまち風景」写真展に多くの来場者

12月10日・11日の両日、中央公民館市民ギャラリーで開催した写真展は、大変多くの方に来ていただき、アンケートの回答も200件を超えました。昨年秋に中津西地区の皆さんからお寄せいただいた昔の写真、中津川市(デジタルアーカイブ資料)やD51会の協力による古い写真、現在の西地域の風景写真のほか、衛星画像やドローン撮影動画、西地区広報(創刊号～第10号)など約90点を展示しましたが、懐かしい風景や初めて見る上空からの映像、約60年前の住宅地図等に思い出や感動の声、そして様々なご要望や提案をいただきました。

中津西まちづくり協議会のホームページ「写真館」「動画館」でも紹介していますが、“まちの記録は私たちの財産”と考え、これからも記録保存の取り組みを継続することとしています。



12月10日(土)・11日(日)
10時～15時
中央公民館 市民ギャラリー

「昔と今のまち風景」
写真展
2022

中津西まちづくり協議会設立記念

振り返れば未来
まちの記録は私たちの財産です

主催 中津西まちづくり協議会
協力 中津川市(デジタルアーカイブ)
西地区区長会

●地域の会館、集会所でも「昔と今のまち風景」の写真などを展示して大好評でした

11月には、桃山区と第3区の文化祭で特設コーナーを設けて展示したところ、皆さん、懐かしい風景などに見入ったり、親が子供と写真について話す場面も。なかには1時間も思い出話をされた人がいたようです。身近な場所での開催ということもあり、写真を通じて交流を深める良い機会になりました。



← 桃山会館

↑ 第3区クラブ

● 中津西まちづくり協議会と区長会が市に「西地区要望書」を提出します

令和4年度は中津西まちづくり協議会が設立して活動を始めましたので、各部会などの意見を入れて西地区区長会と合同で「要望書」を提出し、市長とも面談します。

要望の柱は①協働のまちづくり、②安全に暮らせる環境整備、③リニア関連事業の推進です。

《主な要望項目》

1. 協働の格差是正

合併後約17年経過した今、西地域の人口世帯規模や出先事務所の人数、公民館施設など、周辺地域と“協働の格差”が顕著であり、是正への考え方や方向性を示すこと。

2. 活動拠点の整備

- ①サンライフ分館を再整備（バリアフリー、多目的トイレ等）して地域利用を促進すること。
- ②「西交流センター（仮称）」を整備するための用地を西小学校隣接に確保すること。
- ③手賀野公会堂を公民館と位置付けて整備するように検討すること。

3. 地域一括交付金見直し

- ①各地域の金額に大きな差があるため是正すること。（人口割の配分増）
- ②がんばるサポート事業や各種補助金も地域一括交付金に集約して地域に交付すること。

4. 人的支援の拡充

県内他市の導入事例を参考にして、西地区に複数名の「地域担当職員」を配置すること。

5. 前川河川改修時に架かっていた若宮橋を早期に復旧すること。

6. 京田用水の伏越しや取水口改良、抜本的な排水対策と地区全体の流量調査を実施すること。

7. 新たな基幹道路開通による問題を地域と共に確認し、速やかに対処、併せて交差点変更による利便性向上も検討すること。

8. 青木斧戸線の支線となる市道の道路幅拡張や南への延伸で利便性を高めること。

9. 新たな道が防災路にもなる為、指定避難所を西小にすること。

10. 身近な集会所を避難所にする制度は、再検討し改良すること。

11. 新環境センターの広域化への道筋とゴミ減量対策を示すこと。

12. 東濃東部都市間道路のうち桃山工区の計画を早期に示すこと。

13. リニア関連工事での安全確保や情報提供、課題へ迅速な対応をすること。

14. 青木公園を災害避難や遊び場（通学路）として公衆トイレを設置すること ほか



下校風景（青木斧戸線開通後）

● 中津西まちづくり協議会（部会）の活動から

総務部会

- ・地域版広報第11号の構成協議、発行
- ・まち協立上げ記念イベントの協議
- ・ホームページ編集の勉強会
- ・市への要望事項調整（まち協、区長会）



住民福祉部会

- ・子ども食堂勉強会へ参加
- ・西地区における老人クラブの把握



文化スポーツ教育部会

- ・地域内の活動団体把握
- ・コミュニティスクールに関する資料収集及び勉強会開催

安心安全部会

- ・市の防災安全課と意見交換
- ・学校や見守り隊、警察等に呼びかけて「青木斧戸線」沿線の安全点検を実施

●手賀野地区「根ノ上高原ウォーキング」

第2回目となる手賀野地区全体でのウォーキングイベントを11月6日(日)AM10時から根の上高原で開催しました。

「皆様の心がけが良かったのでこんなに晴れました!」という司会の一言からスタートし、手賀野地区運営委員長の挨拶、準備体操のあと100人以上の三世代の面々が根ノ上湖一周を目指して出発しました。

用意した竹の杖をつきながら親子一緒に、あるいは気の合うグループで、お話ししながらそれぞれのペースで歩き始め、途中の展望台では、眼下に青木斧戸線が見えとても綺麗なパノラマの景色を満喫。

そこから今度は、湖面をめざして両側の紅葉が美しい道を進み、途中から細い道を下ると、いよいよ湖面が目の前に見え、釣りをしているボートも確認できました。湖面沿いに紅葉の景色を楽しみながらさらに歩いて行くと湖の堤防に出ます。ここは、記念写真ポイントでした。



写真を撮り終わりこの堤防を渡りきると出発したステージが見えてきてそこにたどり着くと「ウォーキング」の終了です。約2kmを1時間と少しで歩き、到着後は、お弁当を食べてコーヒーを飲みながらの楽しいひと時を過ごしました。



●第五区「昔と今の道 ウォーキング」

古(いにしえ)の道と新しい道路の景観などを楽しむウォーキングを通じて、住民交流、健康づくりを進めようと、11月6日に第五区と中津西まちづくり協議会の共催で実施されました。

津島神社から苗木道、青木稲荷(古墳)では、地域学習資料「私たちの西ちいき」冊子編集委員の方にガイドをしていただきました。休憩のあとは、市(建設課)職員の案内で、開通したばかりの青木斧戸線をウォーキング。

青空のもと、参加した皆さんは今まで知らなかった地域の歴史文化や新しい道路がどのように作られて私たちの暮らしがどう変わっていくのかなど、説明を聞いてさらに会話がはずんでいました。



広い歩道がある青木斧戸線をウォーキング

●三世代でクリスマスリースづくりを体験 ～新しいサロンの試み(大平区)～

互いに助け合える絆の関係をつくるには普段から顔を合わせ知り合うことが大切として、大平クラブで実行委による食事(100円)とゲームのサロンを年数回開催してきた大平区。

コロナ感染予防のため、屋外での格安バザー及び茶席交流に切り替えて続けてきましたが、高齢化で参加者が限られてきました。

そこで、幅広い年代の参加につながるように体験型のメニューでやろうと「クリスマスリースとカレーでランチ会」を企画。

スチロールの輪に接着剤をつけたカラフルな布を差し込み飾りを付けて完成ですが、色使いや作り方も様々で皆さん会話が弾んでいました。

最後はマスクを外してパチリ。



講師と参加した皆さんの作品です



子供は松ぼっくりでカップツリーを完成